

**令和6年度 東濃圏域障がい者総合支援推進会議
就労・雇用支援部会（障がい者就労支援圏域ネットワーク事業）
報告書**

圏域名	東濃圏域	委託先法人名	社会福祉法人 陶技学園
-----	------	--------	-------------

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労支援推進のため、関係機関等の情報・課題の共有を行う。	東濃圏域障がい者総合支援推進会議就労・雇用支援部会構成団体・機関	<東濃圏域障がい者就労支援ネットワーク全体会議> ◆令和5年度報告及び令和6年度計画 ◆障がい者就労の現状と課題（ハローワーク、特別支援学校） ◆農福連携に関する事業について（岐阜県農業経営課、東濃・恵那農林事務所） ◆事業種別打ち合わせ（就労継続支援A型・B型）	6/26(水) 13:30～15:30	東濃西部総合庁舎 5階大会議室	58名 (49事業所)	東濃圏域における障がい者就労の状況や農福連携関連等の最新の情報を周知することができた。 農福連携については、助成事業等の対象となる就労継続支援A型、B型、就労移行支援等の事業所職員が出席する本会議の開催情報を事前に県担当者と共有したことで、県担当者から直接ご説明いただき、情報提供の機会となった。
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労継続支援B型事業所における工賃の向上、事業の充実を促進する。	就労継続支援B型事業所	<令和6年度 第1回就労継続支援B型事業推進協議会> ◆テーマ別意見交換 (1) 工賃向上 (2) 新規利用者獲得	8/9(金) 13:30～15:00	【多治見会場】 東濃西部総合庁舎 【恵那会場】 恵那総合庁舎 ※両会場をZoom接続	26名 (23事業所)	前回のアンケート結果から意見が多かった工賃向上、利用者獲得を議題としグループワークを実施。また、集合開催の希望が多かったこともあり、地域ごとに会場を設けて出席のしやすさに配慮し両会場をオンラインでつなげる形式とした。 出席者からは、共有できることが地域の共通認識や現実的な話題でありながら、他地域の事業所の情報も得られたことなど好評の意見をいただいた。
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	就労継続支援B型事業所における工賃の向上、事業の充実を促進する。	就労継続支援B型事業所	<令和6年度 第2回就労継続支援B型事業推進協議会> ◆障害者週間の活動報告 ◆多治見市役所福祉課、恵那県事務所福祉課より報告 ◆グループホーム新設について ◆販路拡大に関する報告 ◆次年度副会長選任について	2/28(金) 13:30～15:00	【多治見会場】 東濃西部総合庁舎 【恵那会場】 恵那総合庁舎 ※両会場をZoom接続	25名 (20事業所)	障害者週間、販路拡大に関する企業との打ち合わせなど、今年度の協議会の活動内容を報告し共有した。行政や関連する福祉サービスに関する情報提供の機会も設けた。 グループワークでは来年度の販売会開催に向けたアイデア出しや検討事項の確認を行なった。東濃東部地域の事業所では企業の協力の目処が立ち、具体的な案について意見交換が行われた。西部地域では現状は具体的な開催予定はないものの、情報発信の方法や客層のターゲットを意識した商品開発など、来年度につながる意見交換が行われた。
就労・雇用支援部会 ネットワーク会議	一般就労を目指す就労継続支援A型事業所利用者への支援の連携強化を図る。	就労継続支援A型事業所	<就労継続支援A型事業所会議> ◆趣旨説明 ◆講義『就労支援における連携について』 東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト t ◆意見交換	11/20(水) 13:30～15:00	【オンライン】 Zoom	10名 (7事業所)	一般就労を目指す障がい者への支援・連携強化を図るため、就労継続支援A型事業所へナカボツの機能や役割、事例を紹介。連携のための基礎的な知識を周知することができた。 本会議開催後、参加事業所のうち2ヶ所から利用者に向けたナカボツセンターに関する説明会や、就労相談の依頼につながった。

事業種別	目的	対象・参加者	実施内容	実施時期	実施場所	出席者	効果
就労・雇用支援部会 東濃圏域 研修事業	障がい者雇用の促進や職場定着を図るため、取り組みや雇用事例等の情報を企業へ発信する。	地元企業・関係機関	<障がい者雇用セミナー> 共催：岐阜県発達障害者支援センター (1) VR発達障がい体験会 株式会社シルバーウッド VR事業部 (2) 就労に関する制度の紹介 東濃障がい者就業・生活支援センター サテライト t	9/3(火) 13:30～ 16:00	瑞浪市 産業振興センター	39名 (35事業所)	講師を招き、東濃圏域では初の試みとしてVR体験会を開催した。発達障がいに関する基礎知識の講義と、VRゴーグルを使用した聴覚過敏、視覚過敏、ADHDの疑似体験を実施した。 参加者からは「文字や文章でわかりにくいことがVRでわかった」「発達障害への理解度が深まった」といった意見の他、「社内研修でも取り入れたい」「職場では理解が進んでいないので職場でも体験できると良い」といった意見もあった。障がい理解を促進し、職場への周知の必要性について考えていただく機会となった。
就労・雇用支援部会 東濃圏域研修事業	障がい者就労支援に従事する方向けに、スキルアップや連携強化のための研修の機会を提供する。	就労移行支援事業所・就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型	<就労支援研修> 講義『就労支援のためのアセスメントについて』 岐阜障害者職業センター	2/7(金) 13:30～ 16:00	【多治見会場】 東濃西部総合庁舎 【恵那会場】 恵那総合庁舎 ※両会場をZoom接続	37名 (30事業所) ※内訳 【多治見会場】 27名(21事業所) 【恵那会場】 10名(9事業所)	講師を招き、支援者向けの研修として実施。就労支援のためのアセスメントのポイントや、アセスメントシートの活用例について講義、演習などで構成した。シートを活用したアセスメントの場面では、ロールプレイを交えて説明をすることでイメージを具体化して参加者へ伝えることができた。 地域ごとに会場を設けたことで参加しやすい距離になり、1ヶ所開催であった昨年度よりも多くの方が会場で参加された（昨年の会場参加は16名）。
就労・雇用支援部会 地区別開催事業	一般就労に向けた現況への理解を深めると共に、障がい者の意識の向上と働くための心構えに関して学ぶ 一般就労に向けた取り組み、指導方法についての助言を受け、支援に活かす。	東濃特別支援学校 地元企業	<多治見・土岐・瑞浪地区事業> ◆事業概要説明 ◆学校概要説明 ◆学校見学 ◆作業学習体験	10/2(水) 9:30～ 12:10	東濃特別支援学校	22名 (13事業所)	作業学習を通じて障害のある生徒とふれあい、働く力を見ていただいた。 参加者アンケートを実施し、在学生の実習、卒業後の雇用など受入の意向を把握することができ、学校の進路担当者と結果を共有。後日、学校の進路指導担当とナカボツの障がい者雇用拡大支援員による営業訪問につながった。
		恵那特別支援学校 地元企業	<恵那・中津川地区事業> ◆事業概要説明 ◆学校概要説明 ◆学校見学 ◆作業学習体験	10/11(金) 10:00～ 12:30	恵那特別支援学校	28名 (19事業所)	作業学習を通じて障害のある生徒とふれあい、働く力を見ていただいた。 参加者アンケートを実施し、在学生の実習、卒業後の雇用など受入の意向を把握することができ、学校の進路担当者と結果を共有。後日、学校の進路指導担当とナカボツの障がい者雇用拡大支援員による営業訪問につながった。 終盤にはミニ販売会を実施。実際に商品となった製品を見ていただき、購入される方もあった。
就労・雇用支援部会 啓発事業	就労・雇用支援を効果的に推進するため、情報整理・集計化を図り、各関係機関や企業、地域住民へ情報提供を行う	地元企業 地域住民 関係機関	<ガイドブック更新> 東濃障がい者就業支援ネットワークのガイドブックの内容を修正・更新し、令和6年度版を発行。	9/5(木)発行	東濃障がい者就業・生活支援センターにて更新	—	ガイドブックは就労支援ネットワーク構成団体に配布し活用されている。 ホームページでは、支援機関や制度案内、ガイドブックのPDFデータなどを更新し、地域の方も各種情報を閲覧できるようになっている。
			<ホームページ更新> 東濃障がい者就業支援ネットワークのホームページ更新を行うと共に情報の収集・発信を行う。	随時			